



寺院名物シリーズ②④ 浄蓮寺の庭園 (三隅組)

当山は石見の中山間地、標高は海拔200メートルに設置している。眼下に日本海をのぞみ、鹿島と高島が浮ぶ。快晴の折には仙崎(山口県)沖の見島を見ることもできる。

天明3年(1783年)、この地をおそった台風によって本堂は倒壊。飢饉という辛酸・苦境のなか、ご門徒と一緒にのり越え、やっと享和3年(1803年)に本堂再建。庭園(写真)は、本堂再建とならんで作庭されたと考えられる。様式は池泉回遊式の庭であるが、作者は不明。

京都林泉協会編(会長・重森三玲)の「全国庭園ガイドブック」に紹介されたこともあって、「いやしの庭」と聞きおよんで訪れる人あり。立春を過ぎる今、みぞれの中の緋寒桜は、つぼみに色を染めはじめている。

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会

発行 山陰教区教務所
〒690-0002 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂

TEL 〇八五二 〇四七四
FAX 〇八五二 〇八三五一

発行者 野川大卓

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

二〇二二(平成二十四)年度のまとめ

山陰教区委員会 副委員長 小笠原 寧 之

私たちの教団は「御同朋の社会」の実現に向け、今日まで基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)を推進してきました。基幹運動は、長年の取り組みにより多くの成果を生むと同時に、教団内や社会の様々な課題をあきらかにしてきました。二〇二二(平成二十四)年四月から、運動名称が「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」と改められました。山陰教区におきましても、今年度より三ケ年は、重点プロジェクト基本計画に基づきながら、「御同朋の社会」の実現をめざし、実践目標を「日常の寺院活動・地域と寺院とのつながりを大切にする」とし、達成目標は、み教えを、混迷の社会を導く灯火として高く掲げながら、全寺院において、既成の形にとらわれない、地域の人が訪れやすい寺院の環境をつくることによって、お寺を中心とした新たなコミュニティづくりをめざす」としました。今年度(平成二十四年度)は、総合テ

マ・実践目標・達成目標を教区全体に周知徹底していき、各組・各寺・各教化団体を始めとして、一人ひとりが、運動の担い手となることが大切であります。教区委員会におきましても、運動を円滑に推進するために、同朋・社会部会、寺院活動支援部会、伝道・広報部会の三部会を設け、さらに各部に担当を設けて、教区報、カレンダー等の従来の事業を引き継ぐことになりました。又今年度は、運動を推進するにあたり、寺院の実態を把握するため、アンケート調査を行いました。寺院の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、調査結果の分析、今後の方向性、諸課題への対応は、教区委員会の協議を経て、寺院へ報告させていただく予定しております。

各寺院の置かれている現況、課題を検証し、確認・共有こそが運動の出発点となり、一人ひとり「縁」を大切にしながら、つながりあって一歩ずつ歩んでいく運動にしましょう。

二〇一三(平成二十四)年度 山陰教区門徒総代研修会に思う

門徒総代会 会長 坂根 勲
(江津組光善寺)



総代研修会が昨年十一月鳥取会場、十二月出雲、石見会場と三会場で開催されました。教区の皆様方には大変お世話になりお礼申し上げます。昨年度は相山先生(江津組光善寺)より「総代像の構築」と言うテーマでお話しを聞きました。「総代はどうか有るべきか」、「総代

は自分で考え行動すべき。」と言うような内容だったと思います。今年度は単田先生(松江組真行寺)から「寺院と総代」と言うテーマでお話しをいただきました。ご自分で体験されたこと、考え扱われたことをご自分の言葉でお話したいとき、多くの方が感謝したようです。そして最後に総代に向って「気が付いた事があれば言ってみてください。」と叱って下さい。「怒って下さい。」そして「吾子のように可愛いがって下さい。」と結ばれました。素晴らしい言葉だと思いました。多くの方が「わかりやすくてよかった。」「新鮮でよかった。」と大変好評でした。途中で抜け出し縁に出て煙草を吸う人や、休息している人も、一人として見かける事も有りませんでした。二年にわたり、総代が最も関心を持つテーマを企画された教区に感謝します。単田先生のお話しの中で、再三「本願寺から預かったお寺」と言う言葉が有りました。私は「門徒の皆さんから預かったお寺。」と表現されているのだ

と、ふと、そんな思いもしてお聞きしました。午後の分科会でこんな事が発表されました、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の負担金捻出のため、住職と総代が相談し、お寺の休耕田を耕して、さつま芋を作り、酒造会社で焼酎にしてみたい、その収益を負担金に当る事になったそうです。収支は、トントンだったようですが

本願寺山陰教堂 御正忌報恩講

二〇一三(平成二十五)年一月二十一日(月)、本願寺山陰教堂、御正忌報恩講法要をお勤めました。ご講師は、備後教区鴨川北組照専寺 佐々木至成師。

日中法要は宗祖讃仰作法第一種を、速夜法要は宗祖讃仰作法第三種(音楽法要)をお勤めました。松江組内を中心とした御法中、並びに山陰教区雅楽声明の会「雅龍会」の皆様にご出仕戴き、お勤めをさせていただきます。

また、お昼には、松江組真光寺の坊守さまにご協力いただき、仏教讃歌の練習会を行いました。法要の最

門徒さんと地域の方が一体となり汗、水をたらし芋を作って焼酎にする。その中で連帯感が生れた事が大きな収穫だったそうです。それ以来お寺の法座には皆んな誘い合って沢山お参りが増えたそうです。素晴らしい話合いをもたせていたゞいた有意義な研修会でした。みなさん有難うございました。 合掌



後には主管による御伝鈔拝読。 寒い中ではありましたが、多くの皆さまのご参拝をいただきました。ようこそお参りくださいました。

ビハラー山陰研修会に参加して

三隅組 龍光寺 川本みやび

家族との別れや重い病を抱えて
悩み苦しむ方にどんな言葉が励ま
しとなるかという気持ちから、この
研修会に参加しました。

午前中「あなたならどうします
か？」というテーマで講師の長倉伯
博先生が事例を通じて患者さんと
そのご家族への対応を話されまし
た。午後から十班に分かれて三つの
事例について話し合い、班ごとに発
表しました。先生から患者さんと接
する時、傾聴・受容・共感・促進・
展開の重要な五つのポイントを教

わりました。話し合いの前に先生が
「正解はありません。患者さんは、一
人一人の人生の物語を抱えて生き
ているという事を大事に考えて下
さい。それぞれ経験や体験が違うか
ら、違って良いのです。あなたなら
どうするか？という事で考え話し
合いて下さい。」と言う事で九班
は、一人一人の経験を話しました。

「患者さんはすでに頑張っている
人だから、頑張つて下さいは、ダメ
ですよ。」と先生が言われたけれど
もどうしても身内の死を認められ

なくて「がんばれ」と言ってしまう
後悔した事など、理解と実践の難し
さを話して下さいました。

過疎化、高齢少子化の私の住む地
域では、婦人会や青年会だけでなく
老人会も次々と解散し、地域一同が
会する場がなくなると言う問題を
抱えています。阪神淡路大震災から
地域のつながりの重要性を叫ぶ中、
自由気ままな家族単位の核家族が
増えました。個人情報保護法によ
り、周囲からの孤立と他人に対して
不信任を持ち心を閉ざし生活する
原因となっています。

長倉先生の「あなた先に逝く人、
私ちよつと遅れて逝く人、共に浄土
に歩む人」の言葉で「かわいそうな

青年布教使研修会に参加して

鳥取伯耆組 香宝寺 山田淳信

平成二十五年二月十二日・十三日
の二日間にわたって、青年布教使研
修会が江津組光善寺様にお世話に
なり行なわれました。

同行及び布教団二十名の参加で
にぎやかなご法座で、実演布教され
た柳楽由乘氏、吉川光城氏、斎藤友
法氏三人の方々のご法話がとても
力強く大きな声にて語られる言葉
がはつきり解かり聴聞されてる同

行の皆様のようなづきを感じながら
のご縁でした。

私は鳥取県湯梨浜町より初めて
布教使研修会に参加させていた
いたのですが、私自身昨年布教使
三十年のご縁があったせい、自分
のマンネリ化している姿を省みる
中、初心忘るべからずではないが、
もう一度布教の原点に立ち帰ろう
との思いから参加させていた、い

たものです。

いづれにしても湯梨浜より江津
まで三時間の道のりでしたが、疲れ
もふつとんでしまうほどの御縁と
うれしく思いました。

法座を終えられた後、大阪の小林
顕英先生より三人の方々の実演布
教を総まとめされ、これからのアド
バイス、方法論、たとえ等、色々な
角度よりお話し下さいました。

それらを参考にしながら、布教団
の参加者一人一人感想なりはげま
しの言葉をかけながら研修会を終
えられました。

人」と思う私は死を他人事に見てい
るのだと気づかされました。

身近な人の悲しみや苦しみに目
を向けて、寄り添い、相手の思いを
聞くだけのこと、孤立させない、つ
ながりの輪を広げることがビハー
ラ活動の意義であると感じました。

「何が一番辛いですか。」と自ら声
をかけて、心の奥にある本音を聞く
には、相手との信頼感も大切である
と知りました。自分の思いや考えを
押しつけるのではなく、受容するこ
との大事さをこの研修会で学びま
した。今後、どれだけ傾聴し受容で
きるかが私の課題です。

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩

感謝



ぶつだんの

内田 恵造 商店

・木次 0854-42-0266 ・下熊谷 0854-42-3711 ・出雲 0853-21-3253

「特別法務員・法務員試験合格者」

研修連絡協議会「報告」

期 日：平成二十五年二月十四日(木) 午後一時三十分より午後五時三十分
 場 所：本願寺山陰教堂教化センター
 講 師：本願寺式務部長 熊本義秀先生
 参加者：二十一名

まず、教区勤式指導員の能美頭之先生より、本山で開催された勤式指導員研修会について報告をいただきました。

その後、能美先生を座長とし、事前アンケート「葬儀について困っていること」に関連し、参加者の皆様からそれぞれの現況や思いを語っていただきました。現場で直面している問題だけに、みなさん同様な意見が多く、共通の問題意識が大多数を占めているようでした。内容は、「云館葬が多くなった」「自治会の高齢化、互助活動の困難な状況」「家族葬の方向に進んできている」などで、賛否両論はありますが葬儀が簡素化へ進むことに関する問題意識があるようです。

このような「葬儀に対する簡素化」へ社会情勢の変化があるわけですが、協議会としては「まず僧侶である自分が変わっていくことが大事」という結論に至りました。実例

として、地域の実情として衣体が略されていたが、規範に定められたものできちんと揃えるようにした。焼香が終わると参列者が帰られていたが、葬儀会社と話をしして葬儀が終わるまで席を立たないように依頼した。など、自分に来ることを実践していくことが大事ではないかという所に意見が集約されていきました。

午後三時より、本願寺式務部長の熊本義秀先生から「葬送儀礼の歴史」「葬送儀礼の莊嚴」「葬送儀礼の勤行」「事前質問事項に対する回答」の講義を戴きました。論理的且つ平易にわかりやすく講義をすすめていただき、参加者からの質問も大いに盛りあげられました。

なお、二十五年度からは、勤式研修の対象を広げて教区内僧侶とすることが話し合われていますので、勤式の研鑽と普及の立場からご参加をお待ちいたしております。

平成二十四年度 教区布教団地区別布教大会

出雲組宗玄寺 藤森観海

二月二十六日(火) 午後、参加者二十三名が各会所(鳥取因幡組内三ヶ寺 円浄寺・浄宗寺・畢竟院)に分散してそれぞれ二名ずつ布教実演。法座終了後団員同志、会所によっては門信徒を含めての話し合いを持った。

その後、宿泊場所の鳥取ワシントンホテルに移動。懇親会では、事務局や役員諸氏の配慮により親睦を深める事が出来た。

翌日は、勤行後、隼田真生師のご法話。教区布教団長より来年度布教団連合活動方針・活動計画案についての説明、並びに報告。各会所での布教実演や話し合いの様子が報告された。

- ① 引き続き行われた協議会では、布教上の仏教用語使用や表現
- ② 新「食事のこぼし」への違和感
- ③ 地区別布教大会の期日・日程等々が熱心に話し合われた。

この時期天候が心配されたが、快晴に恵まれ有意義なひとときを持つことが出来た。鳥取ブロックの団員をはじめ各会所の関係者には大変お世話になった。門信徒と共に聴聞の座に着くことの意義を再認識させて頂いたことを感謝している。

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



SINCE 1830



伝統工芸 京仏壇・京仏具



www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入
 ☎(075)371-3131 代年中無休 ☎600-8218
 フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)
 東京店・築地店・札幌店・仙台店
 近江草津店・福岡(営)・新潟(営)
 E-mail info@wakabayashi.co.jp

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
 寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品



営業時間 / 午前9時より午後5時30分 定休日 / 日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
 TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
 http://www.furuta-butugu.jp

山陰教区若寺族婦人研修会に参加して

出雲組通伝寺 西谷 早苗

二月二十八日、春の訪れを感じる好天に恵まれ、山陰教区若寺族婦人研修会が出雲組源光寺で開催されました。

ご講師は、大阪より小林顕英先生にお越しいただき、「南無阿弥陀佛をうけとる」という講題で、ご法話をいただきました。

阿弥陀様は、大きな耳と、細い目で、私たちが我が子のように見つめておられる存在だとお聴きしました。私たちは、我が子を見る時、小さな耳と、大きな目で見てしまいま

す。忙しさに、つい子供の声に耳を傾けず、大きな目で悪い所ばかりが目がいきがちです。：阿弥陀様の大きなお慈悲を感じます。

また、生死は私事、順番のない事です。頭では分かっているつもり、他人事のように思ってしまう。私の命は、他にかわる事のできない大切な命であると改めて気づきました。命が粗末にされているニュースを見ると、心が痛みます。私たち

寺族婦人ができる事、やるべき事、何かあるはずです。小さい頃から手

を合わす、感謝の心を持つ、思いやりの心を育てる。子供会(キッズサンガ)など、できる事を、精いっぱいさせていただこうと思います。限りある命なのですから。

話し合いの時間には、子供会に関する情報交換などさせてもらい、今後の活動にとっても参考になりました。他にも、それぞれの思いなど伺う事ができました。

小林先生には、限られた時間の中で、軽やかに、分かりやすく、味わい深いご法話をいただきました。今回は、お聴聞中心の研修会で、落ち着いた中でお聴聞できました事、嬉しく思いました。ありがとうございました。

門徒推進員実践運動 研修会に参加して

江津組願乗寺 西本佳矩

浄土真宗の念仏に関する講題でない「居場所がありますか？」今もこれから先も、貴方はどうですか？と問われている様でした。

一瞬、集会に行つて座る場所のどこかと思いましたが、そんな軽薄な話ではありませんでした。

高齢社会で独居老人の増える世の中、「あなたには安住の地がありますか」たしかにコミュニティを見廻すと、これから段々その様な事態になる心配がないとは言えない現状です。昔農業で三世代同居は当たり前、各家で老人ホームの役割をしていた。現状は職業が皆違つてそれぞれ

の地で生活する時世に大きく社会が変化しました。

世の流れで致し方ない事かも知れませんが、親の後姿を見て習つて、仕事も生活態度も教わることで

なくなりました。

便利な生活、近代化、先進国と言つてる間にさまざまな弊害やひずみが現在の社会現象であります。大人も子供も精神不安定、「聞いてくれない」「分つてくれない」講師先生の「くれない族」のお話しが印象に残りました。

たしかに自死に至る前に、この聞いてあげる、解つてあげる事がポイントだと共感しました。

愈々、お念仏の教えを深める必要性を感じた研修会でした。

御本山  用達

株式会社

川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088



Your Global Lifestyle Partner

株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：〒690-0003

島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F

TEL：0852-23-2020 (国内旅行) / 23-2024 (海外旅行)

0852-23-6720 (団体旅行)

FAX：0852-23-2023

2011 (平成23) 年度山陰教区一般会計歳計決算

【歳入】

款 項	23年度決算額	23年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	33,361,750	33,361,750	0
1 本年度賦課金	33,361,750	33,361,750	0
2 過年度賦課金	0	0	0
2 宗派助成金	14,353,687	14,300,000	53,687
1 宗派助成金	14,353,687	14,300,000	53,687
3 願記手数料	2,826,500	2,200,000	626,500
1 願記手数料	2,826,500	2,200,000	626,500
4 回 金	1,161,000	1,161,000	0
1 回 金	1,161,000	1,161,000	0
5 雑 収 入	4,199,863	3,950,224	249,639
1 雑 収 入	4,199,863	3,950,224	249,639
6 前前年度繰越金	5,826,941	5,826,941	0
1 前前年度繰越金	5,826,941	5,826,941	0
7 前年度繰越金	9,000,085	9,000,085	0
1 前年度繰越金	9,000,085	9,000,085	0
歳 入 合 計	70,729,826	69,800,000	929,826

【歳出】

款 項 目	23年度決算額	23年度予算額	対比※超過
1 教区事業費	12,630,747	13,710,000	1,079,253
1 総合教化企画費	1,192,140	1,750,000	557,860
1 推進委員会費	1,192,140	1,750,000	557,860
2 教化費	6,405,197	6,700,000	294,803
1 寺院機能振興費	1,994,530	2,050,000	55,470
2 婦人青少年費	1,018,800	1,050,000	31,200
3 総代・壮年費	450,000	450,000	0
4 研修費	1,758,297	1,800,000	41,703
5 矯正福祉費	400,000	400,000	0
6 災害見舞金	30,000	100,000	70,000
7 文書伝道費	753,570	800,000	46,430
8 教化活動費	0	50,000	50,000
3 助成費	5,033,410	5,260,000	226,590
1 布教団助成金	550,000	730,000	180,000
2 各種団体助成金	480,000	480,000	0
3 地方教化助成費	4,003,410	4,050,000	46,590
2 会議費	2,759,572	2,650,000	※109,572
1 会議費	2,759,572	2,650,000	※109,572
1 教区会議費	1,587,072	1,700,000	112,928
2 組長会費	57,300	300,000	242,700
3 各種会議費	1,075,200	550,000	※525,200
4 職員会議費	40,000	100,000	60,000

【歳出】

款 項 目	23年度決算額	23年度予算額	対比※超過
3 教務所費	24,678,634	25,480,000	801,366
1 人件費	19,531,427	19,680,000	148,573
1 教務所職員俸給	6,360,000	6,420,000	60,000
2 賞与	1,470,000	1,470,000	0
3 退職交付金	180,000	180,000	0
4 福祉費	2,235,027	2,250,000	14,973
5 推進専従員事務費	5,040,000	5,040,000	0
6 諸手当	1,026,400	1,100,000	73,600
7 教区相談員事務費	3,120,000	3,120,000	0
8 教区勤式指導員事務費	100,000	100,000	0
2 事務費	3,779,226	4,200,000	420,774
1 通信印刷費	1,914,888	2,100,000	185,112
2 事務消耗品費	509,895	600,000	90,105
3 事務諸費	367,443	500,000	132,557
4 備品費	987,000	1,000,000	13,000
3 旅費	1,050,145	1,200,000	149,855
1 交通費	1,050,145	1,200,000	149,855
4 諸費	317,836	400,000	82,164
1 慶弔供奠費	110,000	150,000	40,000
2 接待費	13,556	50,000	36,444
3 渉外費	47,000	100,000	53,000
4 雑費	147,280	100,000	※47,280
4 回金	18,300,257	18,310,000	9,743
1 回金	18,300,257	18,310,000	9,743
1 山陰教堂運営費	11,950,257	11,960,000	9,743
2 事務機購入費	300,000	300,000	0
3 災害対策費	0	0	0
4 退職積立金	1,000,000	1,000,000	0
5 キッズサンガ事業費	50,000	50,000	0
6 「各種法要」積立金	2,000,000	2,000,000	0
7 平衡資金	3,000,000	3,000,000	0
5 宗会議員選挙費	21,800	100,000	78,200
1 宗会議員選挙費	21,800	100,000	78,200
1 宗会議員選挙費	21,800	100,000	78,200
6 予備費	25,000	3,000,000	2,975,000
1 予備費	25,000	3,000,000	2,975,000
1 予備費	25,000	3,000,000	2,975,000
7 翌年度繰越金	12,313,816	6,550,000	※5,763,816
1 翌年度繰越金	12,313,816	6,550,000	※5,763,816
1 翌年度繰越金	12,313,816	6,550,000	※5,763,816
歳 出 合 計	70,729,826	69,800,000	※929,826

歳 入 合 計	70,729,826
歳 出 合 計	58,416,010
差 引 残 高	12,313,816

2013 (平成25) 年度山陰教区一般会計歳計予算

【歳入】 經常部

Table with 5 columns: 款 項, 25年度予算額, 24年度予算額, 対比△減. Rows include 教区賦課金, 宗派助成金, 願記手数料, 回 金, 雑 収 入, 前年度繰越金, and 經常部合計.

【歳入】 臨時部

Table with 5 columns: 款 項, 25年度予算額, 24年度予算額, 対比△減. Rows include 協賛金, 特別協賛金, 臨時部合計, and 歳入総計.

【歳出】 經常部

Table with 5 columns: 款 項 目, 25年度予算額, 24年度予算額, 対比△減. Rows include 教区事業費, 助成費, 大遠忌記念事業費, 会議費, and 職員会議費.

【歳出】 經常部

Table with 5 columns: 款 項 目, 25年度予算額, 24年度予算額, 対比△減. Rows include 教務所費, 事務費, 旅費, 諸費, 回金, 宗会議員選挙費, 予備費, 翌年度繰越金, and 歳出合計.

【歳出】 臨時部

Table with 5 columns: 款 項 目, 25年度予算額, 24年度予算額, 対比△減. Rows include 山陰教堂回金, 臨時部合計, and 歳出総計.

2013 (平成25) 年度 山陰教区行事 予定

(3月25日現在)

部 門	行事名	期 日	会 場	講 師	参加者
御同朋の社会をめざす運動教区委員会	実践運動推進委員会 (総会)	2月中旬 (平成26年)	山陰教堂	—	
	各組選出者連絡協議会 (実践・勤式)	5月～6月	山陰教堂	—	
	同朋社会研修会	7月9日	あすてらす	澤アツ子師	120名予定
	実践運動ブロック連絡協議会 (5ブロックごとに自主的に開催)	—	—	—	—
	実践運動僧侶研修会 (組、ブロック開催)				
	実践運動推進協議会 (組、ブロック開催)				
	第4連区 実践運動連絡協議会	9月26日・27日	松江東急イン	—	25名
	連研のための研究会				
	連研履修者研修会				
	矯正教化連盟山陰教区支部総会	4月23日	山陰教堂	—	
矯正教化連盟広島支部 (教誨師) 研修会	2月頃	備後教区担当			
教区報「山陰」発刊 1000部 (126号、127号、128号)					
ホームページ「山陰教区」 http://www.saninkyoku.net					
妙好人カレンダー発行 (20,000部)	10月上旬発行				
社推	各施設カレンダー配布				
	連絡協議会				
ビハロー	ビハロー第4連区連絡協議会		安芸教区担当		
	ビハロー活動第4連区集会	本年度なし			
	ビハロー講座 (公開)	2月～3月 (平成26年)		鍋島直樹師	
	ビハロー山陰総会・研修会	6月6日	山陰教堂	土江正司先生	
僧侶	僧侶研修会	9月4日・5日	出雲市民会館	内藤昭文師	
	勤式講習会 (僧侶研修会と併修)	9月5日	出雲市民会館	能美顕之師	
門推協	総会・研修会				
	実践運動研修会				
	第4連区門徒推進員研修協議会	10月26日・27日	ホテル穴道湖	未定	
	門徒推進員の集い (本山)				
布教団	会報「ともしび」第14号発行、900部	2014年3月発行予定			
	総会・研修会	5月8日	山陰教堂		
	地区別布教大会				
	青年布教使育成教区研修会				
	第4連区布教使研修会	8月28日・29日	安芸教区		
	第4連区青年布教使研修会	10月1日・2日	松江東急イン	未定	
総代会	全国布教使大会	なし			
	寺院振興「ともしび法座」(12年目)				
	総代研修会 (鳥取)				
	総代研修会 (出雲)				
仏教壮年会	総代研修会 (石見)				
	全国総代会/連区研修会 (協議会)				
	総会・研修会	4月21日	山陰教堂	藤井邦磨師	
	ブロック研修会 鳥取地区				
	出雲地区				
仏教婦人会	石見地区				
	連区連絡協議会	6月1日・2日	四州		
	仏社会員研修会 (中・四国)	10月19日・20日	四州教区	山崎龍明師	
	会報「壮創」発行				
	教区仏婦連盟総会 (研修会)	5月23日・24日	ビッグハート出雲・江津組蓮敬寺	花岡静人師	420名予定
	実践運動婦人研修会	同上	同上	同上	
	仏婦若婦人研修会	本年度休止			
	連区連絡協議会	6月22日・23日	山陰教堂	—	
	中・四国仏婦大会	10月7日・8日	松江くにびきメッセ	上田紀行師	3,000名予定
	仏教婦人幹部研修会	9月16日・17日	聞法会館		3名予定
若婦人中央研修	11月2日・3日	聞法会館		2名予定	
総連盟総会	4月19日	本山 御影堂		15名	
寺婦	寺族婦人研修会				
	寺族若婦人研修会				
	研修旅行	本年度なし			
	会報「寺族婦人のひろば」発行				
少年	総会・研修会				
	指導者研修会				
	少年連盟中央研修会				
	中・四国ブロック指導者研修会				
	仏の子どもの集い				
	広報紙「はばたき」発行				
保育	まことの保育大学講座 (連区)	7月20日・21日	神石高原ホテル		
	全国保育大会	7月27日	本山		
	理事会・総会				
	教区まことの保育入門講座				
仏青	全国真宗青年の集い				
	第59回中央研修会	10月12日・13日	熊本教区担当		
	仏青ブロック研修会				
	教区の集い			備後教区担当	
キッズサンガ	本山成人式				
	第36回全国寺族青年軟式野球大会				
	中・四国地区寺族青年野球大会				
勤式	キッズサンガ・サポーター研修会	7月2日	山陰教堂	松月博宣師	
	法務員・特別法務員連絡協議会・勤式研修会	7月予定	山陰教堂	未定	

誰もが自らの目を疑ったあの巨
大津波からもう二年経つ。

当時は、遠く離れて暮らす私達
であっても、心のご真ん中にあつた
この出来事も、今は心の片隅にさえ
あるのかと自問せずにはおれない。

山陰教区浄土真宗青年僧侶連絡
協議会「楽法会(ぎょうほうかい)」
では、震災が起こった翌日に臨時
会議を開き、翌十三

日、三瓶のミネラル
ウォーター『さひめ
の泉』をワンボック
ス車に積込み仙台
へ向かったのが支援
活動の始まりで、最
初の一年間は、被災
地での物資の配達、
視察、遺体安置所で
の読経、瓦礫撤去の
ボランティア、茶話
会での傾聴などを
おこなってきた。

三月から翌年の二月まで、計七回
の現地訪問は、この活動に賛同して
下さる多くの寺院、並びに御門徒
の支援金により支えられて続ける
事が出来た。

一年が経ち、より複雑化した被災
地の状況を鑑み、二年目は、被災
者の方々に山陰の地において頂き、

瓦礫の中の生活から少し離れ、そし
て、こちらの方に被災者の生の声を
聞いて頂く取り組みを企画し、昨
年八月に、益田市と出雲市の会員
寺院を会所とし『あの日を忘れな
い法要』を勤めさせて頂いた。

その後、十月末に六名の会員で
再び被災地を訪れ、福島県復興支
援宗務事務所に立ち寄り、そして、
原発から二十キロ

圏内に自坊がある
御住職から、終息
のつかない現状の
中で、模索しながら
「今」を「これから」
を、また「これま
で」をお聞きした。

そのお寺は、天保の
大飢饉の際、鳥取か
ら移住された方々
によって建立され
たお寺であった。

宮城県の南三陸町にも訪問し、
復興の進まないもどかしさに苦悩
される現地の声を聞いた。

三回忌を迎えた今も、先の見え
ない不安に被災地は未だ満ちあふ
れている。被災地域が広い為、抱え
る問題も様々であるが、少しでも関
心を持ち続けて頂けるような活動
をこれからも継続して参りたい。

憂 楽 帳

「あの日を忘れない」

鹿足組 妙壽寺
村上 元

編集後記

今年度から編集委員として関
わる事となりました大田東組専
勝寺の金盛麻衣子です。

寺院名物シリーズにあるよう
に、山陰の寺院には数多くの貴重
なものがあることを改めて知り
ました。そんな寺院とも知らず
何気なく通り過ぎていたことを
もったいなく感じています。

また、以前からこの教区報を通
して各教化団体の研修会や講習
会など、さまざまな活動報告を拝
見させて頂いていました。これ
だけの研修会が開催されてい
て、私がどれだけ関わりを持って
たか、また私の学びはもちろんの
こと、その事を自坊にどれだけ反
映出来たかを振り返り反省する
こともあります。

さまざまな情報が動くこのご
時世であります、各教化団体を
はじめ、各組など活動の様子など
お聞かせいただいで、充実した教
区報を皆さまにお届け出来れば
と思います。

お詫びと訂正

前号(一二四号)にて、宗会議
員小笠原義宣氏の氏名が間違っ
ていました。深くお詫び申し上
げ、訂正させていただきます。

(誤) 義宣 ↓ (正) 義宣

『信頼からコミュニケーション』

団体参拝のご計画はお気軽にご相談ください。

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町517 ☎(0852)22-4893